

1.委員会の目的

- 静岡駅南口駅前広場は、平成6年の暫定整備以降、周辺商業施設や交通網の開発が進む中、ロータリーの混雑や憩い空間が少ない等の問題を抱えており、**再整備が喫緊の課題**である。
- このため、当委員会では、政令市の玄関口にふさわしい駅前広場とするための議論を行い、静岡駅南口駅前広場の再整備方針を決定することを目的とする。
- また、当委員会で議論した結果を「静岡駅南口駅前広場再整備基本計画」として取りまとめ、広く市民に公表する。

2.委員会の議題

「静岡駅南口駅前広場再整備基本計画」では、以下の項目について定める予定である。

- ①静岡駅南口駅前広場再整備の背景と目的
- ②南口駅前広場の現状と目指すべき姿
- ③静岡駅南口駅前広場に求められる機能
- ④静岡駅南口駅前広場の再整備方針
- ⑤整備スケジュール

本委員会では特に「②南口駅前広場の現状と目指すべき姿」、「③静岡駅南口駅前広場に求められる機能」、「④静岡駅南口駅前広場の再整備方針」について議論を進めていく。「④静岡駅南口駅前広場の再整備方針」については、広場に必要な各機能の施設量と配置を議論し、各機能の配置をゾーニング図で示すことを想定している。

3.委員会の検討スケジュール（想定）

今回 第1回議題 ・ 南口駅前広場の現状と問題点 ・ 南口駅前広場の目指すべき姿

R6.1月 第2回議題 ・ 南口駅前広場周辺の交通実態 ・ 各広場機能の施設量

R6.3月 第3回議題 ・ 各広場機能の配置案（ゾーニング）

R6.6月 第4回議題 ・ 広場と周辺街区との連携 ・ 再整備基本計画まとめ

視点① 現状に対する視点

静岡駅南口の現状と課題

※一部事前配布

広域的な都市の現状
静岡駅南口エリアをとりまく状況

南口駅前広場の現状と空間的課題

視点② 「空間のあり方」の視点

社会情勢やライフスタイルの変化等に合わせた駅前広場のあり方

これからの駅前広場のあり方

他都市広場再整備事例

視点③ 「空間の使い方」の視点

地域や市民が関わることのできる駅前広場の使い方

南口駅前広場周辺の地域活動

他都市広場活用事例

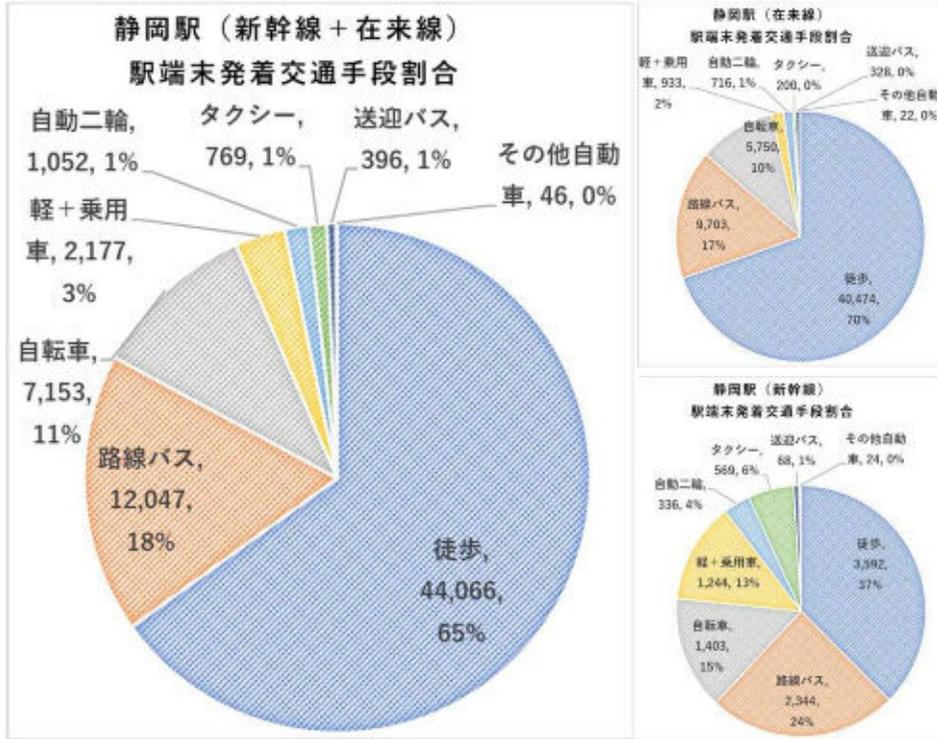
本日の議論の目標

視点①～③を踏まえ、
静岡駅南口駅前広場の
目指すべき姿
を議論する。

2) 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討に向けた3つの視点

視点①. 静岡駅南口を取り巻く状況：歩行者交通

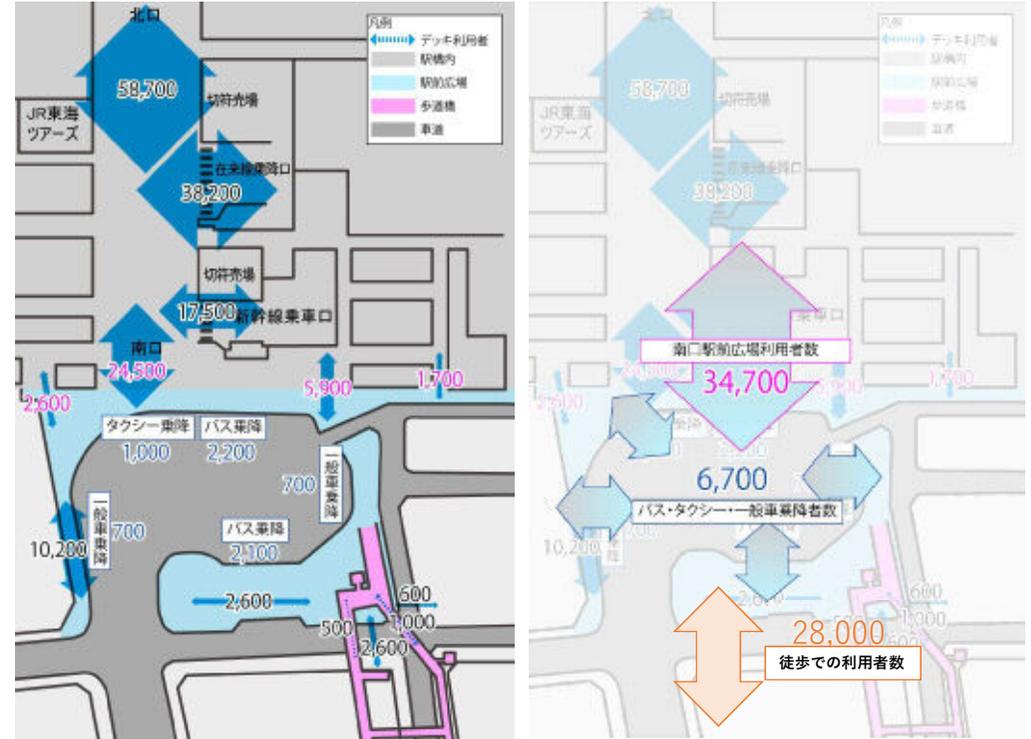
●静岡駅全体の駅端末交通手段割合



出典：H24パーソントリップ調査

- ・ 利用者の約7割が徒歩により移動。次点は、路線バス。
- ・ 在来線では、約7割の人が徒歩で移動。
- ・ 新幹線の利用者は徒歩が約4割。
- ・ 自動車ですべてを利用する人は、在来線は2%程度、新幹線利用者では13%程度。
- ・ 路線バスの利用も新幹線利用者の方が多い。

●静岡駅南口周辺の歩行者交通量



出典：令和3年度 市実施交通量調査

- ・ 南口駅前広場は12時間で34,700人が利用
- ・ 6,700人（約2割）の人がバスタクシー、一般車に乗降している。
- ・ 約8割の人が徒歩で駅とまちを往来している。
- ・ デッキの下の道路を地上で横断する人はデッキ利用者より多い。

静岡駅南口駅前広場の利用者の多くが徒歩により駅とまちを移動しており、地上レベルで歩行者優先の空間整備を行うポテンシャルがある。

2) 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討に向けた3つの視点

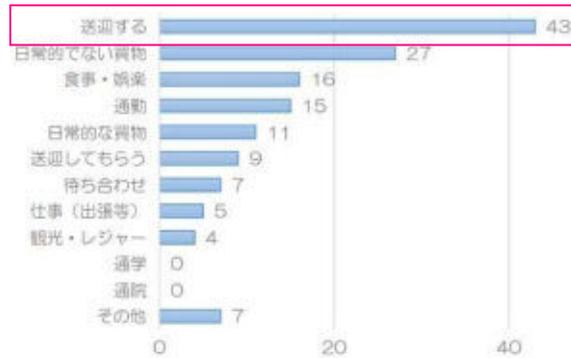
視点①. 静岡駅南口を取り巻く状況：市民及び利用者の声

● 「静岡駅南口駅前広場の再整備」に関するアンケート調査

調査期間：令和3年10月21日（木）～令和3年10月28日（木）

回収件数：145件（回収率96.7%）

○南口駅前広場を利用する、最も多い目的を選択してください。（選択は1つ）



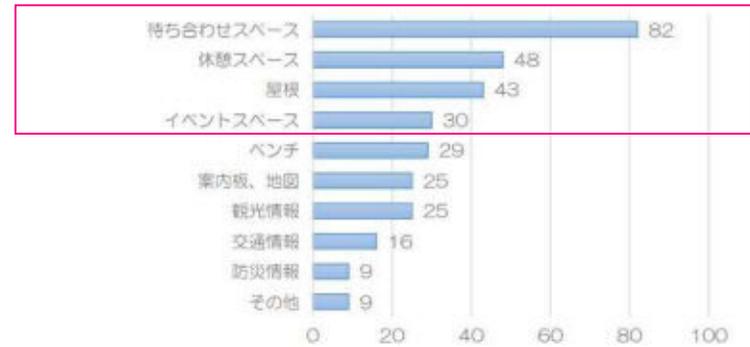
「送迎する」が43人と最も多く、次いで「日常的でない買い物」27人、「食事・娯楽」16人、「通勤」15人となっている。また、南口を利用する最も多い目的として、40代、50代の「送迎する」、60代の「日常的な買い物」が多かった。

○南口駅前広場の課題だと思ふところについて、教えてください。（複数選択）



「自家用車（送迎）が利用しにくい」が77人と最も多く、次いで「車の交通量が多く危険」が47人、「休める場所がない」が39人となった。

○南口駅前広場にあつたら良いものを教えてください。（3つまで選択）



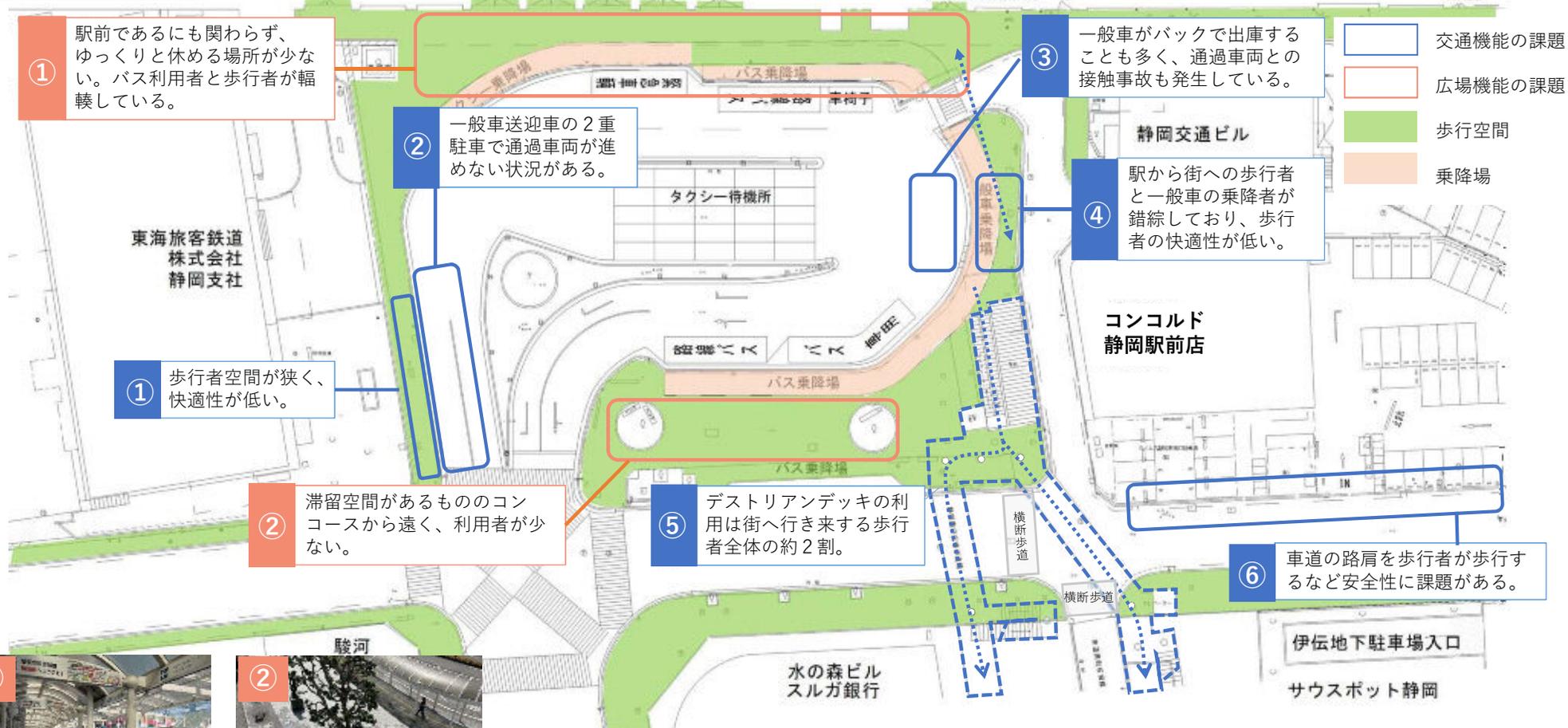
「待ち合わせスペース」が82人と最も多く、次いで「休憩スペース」が48人、「屋根」が43人となった。

駅南口駅前広場は送迎による日常的な利用が多いが、送迎のしやすさや安全性に課題があると感じている市民が多い。また、待ち合わせや休憩に使えるスペースが駅南口駅前広場に求められている。

2) 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討に向けた3つの視点

【資料4】

視点①. 南口駅前広場の現状と空間的課題



一般車の駐車方法や歩行者動線の輻輳等、安全性や快適性に課題がある。

2) 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討に向けた3つの視点

【資料4】

視点①. 南口駅前広場の現状と課題のまとめ

現状	交通機能	広場機能
	市民の声（R3市政アンケート、市民ワークショップ等）	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通と一般車のスペースが混在しており、ロータリーが狭い。 ● 送迎車の交通量が多く、自家用車を止めづらい上に危険。 ● 一般車がバスやタクシーの乗降場で停車している。 ● 屋根があるが、小さく狭いため雨の時濡れてしまう。 ● バス待ちの行列で通路が狭くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 明るいイメージや清潔感、活気がない。 ● 静岡らしさを感じられない。 ● 広々とした憩う場所や、子どもが楽しめる場所が少ない。 ● イベントが行える広場がない。 ● 歩道が狭く、歩きづらい。周辺に足を延ばしづらい。
事務局の意見		
<ul style="list-style-type: none"> ● 歩行者空間が狭く、快適性が低い。 ● 一般車送迎車の2重停車で通過車両が進めない状況がある。 ● 一般車がバックで発車しており、通過車両との接触も発生している。 ● 歩行者と一般車の乗降者が錯綜しており、歩行者の快適性が低い。 ● ペDESTリアンデッキ利用は街へ行き来する歩行者全体の約2割のみ。 ● 車道の路肩を歩行者が歩行するなど安全性に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅前であるにも関わらず、ゆっくりと休める場所が少ない。 ● バス利用者と歩行者が輻輳している。 ● 滞留空間があるもののコンコースから遠く、利用者が少ない。 	

2) 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討に向けた3つの視点

【資料4】

第1回静岡駅南口駅前広場再整備検討委員会 各委員事前意見レクまとめ

	所属	【視点1】意見	
中村委員	日本大学 理工学部	・駅南には面白いコンテンツがあるが、散らばっている。 ・静岡市らしさが無い。	・駅前広場にフレキシブルさが無い。
須藤委員	静岡大学 グローバル共創科学部	・コンコース出たところの広場通路が狭い。 ・ペDESTリアンデッキを歩いたことが無い。	・駅前広場でイベント等を行うようなコミュニティが無い。 ・大型バスが停車できる場所が無い。
三浦委員	一般社団法人 ストリートライフメイ カーズ	・区役所、美術館、遺跡など、南側市街地の資源・アクセス情報が見当たりにくく、気軽に足を 伸ばすにはハードルがある。 ・待ち空間もあまりない、車優先の空間のため、車によるアクセスを助長している。	・低未利用の環境空間:歩行者空間が限られている広場で、貴重な空間のはずだが、利用しやすい配 置にない。駅前および周辺街区で一体的に再整理すべきでは。 ・デッキの意義の再整理が必要である。
平井委員	東海旅客鉄道株式会社 総合企画本部企画開発部	・一般車乗降場に斜めに駐車した車がバックでの発車となる。	・障害者スペースに一般車が停車していることがある。
齋藤委員 杉本係長	静岡中央警察署 交通課 交通規制係	・本来の乗降場でも長時間の駐車が起きている。 ・歩行者動線（広場内の横断歩道）の安全が確保されていない。	・ロータリーの容量不足により、本来の一般車乗降場でない場所に停車されている。
中村委員	静岡市自治会連合会	・一般車が混雑しており、送迎できるスペースが狭いため、寄り付きにくい。	・駅前広場が狭い。広場といえるのか。
名波委員	駅南銀座振興会	・まちと広場がつながっていない。	
田代委員	公募委員	・タクシー・バスといった公共交通とのトランジット機能や、リニアが作られるとひかりが増便 されると言われており、観光客の増加が見込まれているがそのための駅前広場になっていない。 ・市民のための安全な送迎機能となっていない。	・駅南地区には個性的なお店があるが、現状の駅前広場には地域との橋渡しや憩いの広場、くつろ げる空間が無い。
浅野委員	公募委員	・静岡駅南口は駅周辺に若い人の目的となるようなコンテンツが少ないように感じる。 ・利用している人は、周辺で仕事をしている、あるいは仕事目的で訪れた人と地元に住んでいる人 が多い印象を持っている。 ・お酒が飲めるお店が多く、サラリーマンにとっては面白い反面、女性や子供にとっては、少し、 訪れにくい印象がある。	・広場として、安心して滞在できるスペースや、イベントを開催するスペースが無い。 ・周辺の交通量が多く、ロータリー内も混雑しているため、女性や子供にとって、安心して広場を 使えていない。
安本委員	公募委員	・広場機能は、ほとんど存在しないと感じている。 ・混雑時は乗り降りしづらい、少し危険に感じる。 ・駅内や南口付近にゆっくり待てるような場所が少ない。	・交通機能として、歩道が狭い。 ・様々な車が混在しているので、危険なことがある。
増田委員	公募委員	・るくるを含め、子供連れや子どもたちが訪れる施設が集まっているが、泉町豊原線も通過交通が 多く、ロータリー内の混雑や歩行者スペースの狭さを考えると、子供一人ていかせられない。 ・駅に向かう際の動線上に自転車や歩行者を止めるスペースが無い。	・南口地区は、比較的地価が安いので、住むなら南、働くなら北というように分けている人も いる。ただし、南には保育園が少ないので、預け先に困ることが多い。
井藤委員	NPO法人男女共同参画 フォーラムしずおか 静岡市女性会館	・送迎のために広場出入口に駐停車している車が多く、いつも混雑しているため、子供や高齢者な どが安心して乗降できる空間が無い。 ・バス、るくる、ホテルなどの案内表示（サイン）が少なく、わかりにくい。	・北口に比べ雰囲気は暗く、子ども連れが安心して休憩できる場所が無い。
牧野委員	特定非営利活動法人 静岡市障害者協会	・駅前であるにもかかわらず、ゆっくり休める場所が少ない。バス利用者の待合と歩行者が輻輳し ている。限られたスペースに各交通機能を詰め込んでいるので、広場という広場が無い。 ・現行の交通機能はインクルージョンの視点が無い。障がいのない人前提で作られており、後付け で国交省の示すガイドラインに合わせた仕様となっている。	・水の森ビルの向かいに滞留空間が設置しているが、歩行者の移動ルート上にはないため、滞留空間 として機能していないのは自然の流れと考えられる。 ・新幹線口という特徴が活かしていない。
根来委員	商業組合 静岡県タクシー協会	・一般車とタクシーが同じロータリーを使っており、安全面で非常に問題がある。 ・一般車が長時間停めている。特にお迎えの車が長時間駐車してしまっている。 ・人が集う場所が無い。	・歩行者とバス待ち、タクシー待ちの利用者が混在しているため、障がい者、特に車いすの方は使 ・乗降の際に滞ってしまうという利用者からの声がある。
薬科委員	しずてつジャストライン 株式会社	・一般車とバスが同じロータリーを使っており、安全面で課題がある。 ・ロータリーが狭く、新規路線の要望があったとしても、対応することができない。	・歩行者のための空間が無い。バス待ちの待機列と歩行者が輻輳している。

2) 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討に向けた3つの視点

【資料4】

視点①. 南口駅前広場の現状と課題のまとめ

	交通機能	広場機能
	各委員の意見	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般車とバスの動線が分離できていない。 ● 雨の日は一般車が混雑していて危ない ● ロータリーの容量不足により、本来の一般車乗降場でない場所に停車されている。 ● 大型バスが停車できる場所がない。 ● 子供だけでくる等に遊びに行くとなると、車両交通の安全性が心配。 ● 「駅前広場」という表現に疑問がある。車のための「ロータリー」ではないか。 ● 「ロータリー」と呼ぶには狭すぎる。週末の夕方になると停める場所がなくなって、一般車が周回しているような状況がある。タクシー待ちの滞留スペースが狭い。 ● 南口も北口も障害者に優しくない。車いすの乗降場はあるが、空間が狭く使い勝手が悪い。急いで乗降しなければならない状況。 ● 北口と異なり、一つのロータリーを一般車・バス・タクシーが共有しているため危険。 ● バス待機列と歩行者が輻輳。 ● 一般車の枠がしめされているが、斜めに駐車されている現状。斜めの車が二列になっており、車両衝突の危険性がある。 ● ロータリーが狭いために、バリアフリーの乗降場に一般車が止まっている。 ● ロータリー内にある横断歩道も安全性に疑問がある。 ● 一般車の駐車方法が守られていない。 ● 北口との交通分担も考慮する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩行者のための空間、人が集う場所がない。 ● バス待機列等が歩行者動線と輻輳し、車いすの方にとって使いにくい。 ● 安心して滞在できるスペースや、イベントを開催するスペースがない。 ● 北口に比べて雰囲気暗く、子供連れが安心して休憩できる空間がない。 ● 駅前広場でイベント等を行うようなコミュニティがない。 ● まちと広場が繋がっていない。 ● 駅前広場と町が繋がっていない。区域が分割されている印象を感じる。 ● 駅南には北口に比して庶民的で魅力的な店舗が多い。駅前広場から南口の商店街、魅力ある飲食店に人が流れる、もしくは駅前広場に店が出てくるような空間がよい。 ● 南口は暗い印象がある。 ● 南口にそもそも行かない。魅力あるイベント等が広場に必要。学校や塾で利用する学生も多いので、活かしていきたい。 ● 若者が訪れるコンテンツが南口に少ない。南口に訪れにくい印象。観光客等に森下公園等の魅力ある施設が伝わりにくい。 ● 子供と一緒に歩けるようなスペースがない。休憩スペースもない。 ● 車中心の考え方で作られた空間になっている。車と人の共存が必要。人口減少等の将来を見据えて空間を考える必要がある。
課題まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通事業者や一般車利用者にとってロータリーの使い方に課題 ● 歩行者の空間が足りない。人のための空間が必要 ● まちとの繋がりが感られない。将来を見据え、まちとの相互作用を考える必要がある。 	

視点② 空間の「あり方」と視点③ 空間の「使い方」でみた駅前広場事例

近年の駅前広場整備事例

視点②:空間の「あり方」

交通機能を再編し、歩行者中心の駅前広場として整備した事例

姫路駅



大分駅



日向市駅



視点③:空間の「使い方」

駅前広場を積極的に利活用している事例

牛久駅



博多駅



桜木町駅



2) 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討に向けた3つの視点

視点② 空間の「あり方」でみた駅前広場事例：歩行者空間を拡充し、歩行者中心の駅前広場として整備した事例

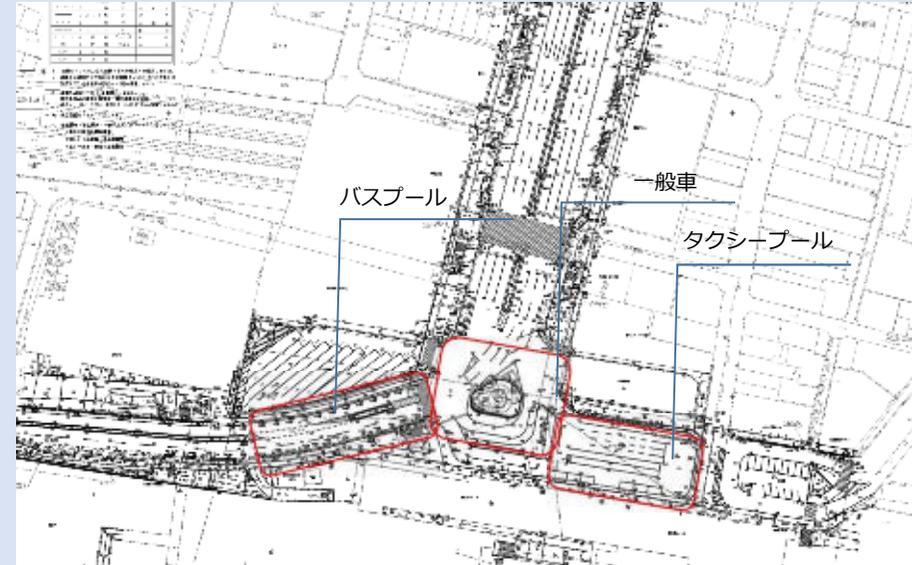
姫路駅

- 人口：532,859人
- 乗降客数：98,893人
- 整備後の面積（北口）：16,100㎡

整備前



(出典：姫路市HPより)



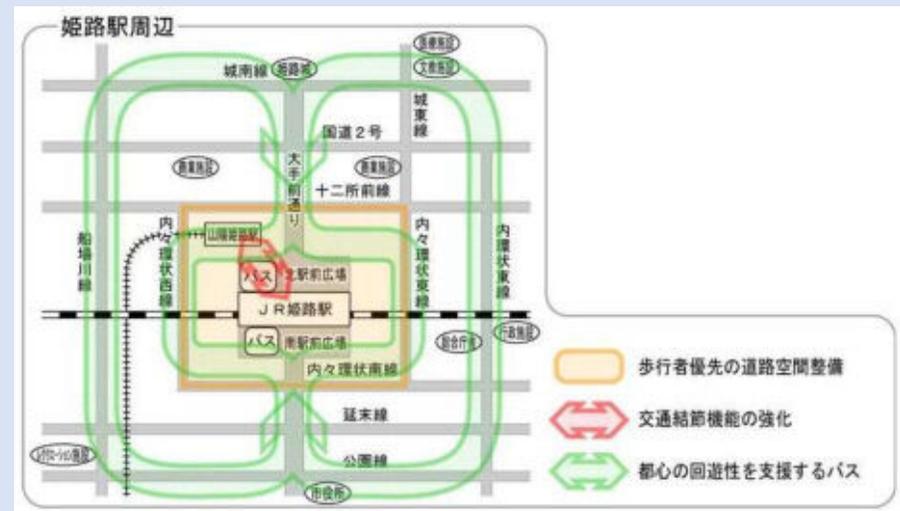
整備前の状況

- ・ 駅前に一般車が停車しており、駅前としてふさわしくない。
- ・ 歩行者と車やバスとの動線が交錯し、危険である。

目指す方向性

・ 姫路駅周辺では、連立高架事業を見据えて1970年代から三重の環状道路を計画している。公共交通機関の乗り継ぎ利便性向上や自動車流入の抑制を推進し、内々環状線内は**歩行者を優先としたまちづくり**を目指している。

・ 市民からの提案を受け、大手前通りの一部では**一般車の通行を制限する**方向で計画を進めた。



(出典：国交省駅まち再構築のポイント)

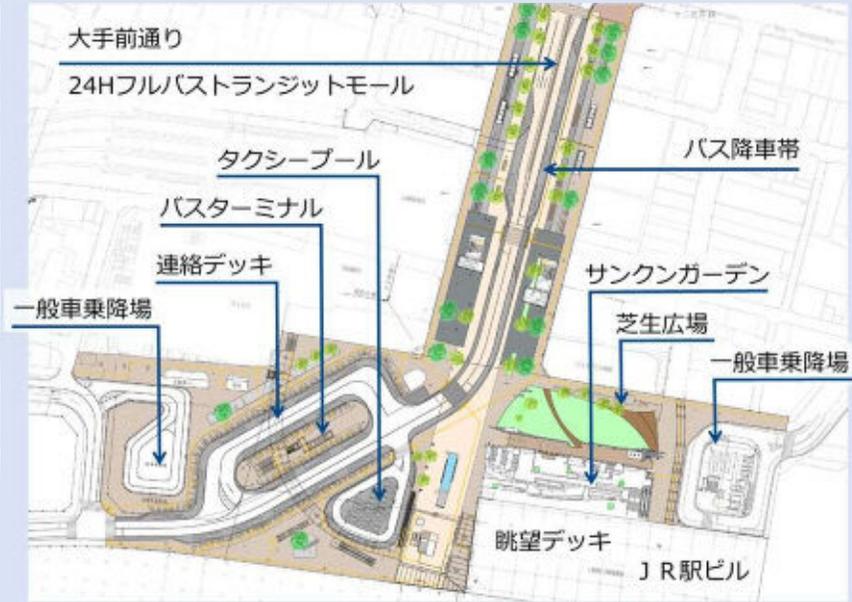
2) 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討に向けた3つの視点

視点② 空間の「あり方」でみた駅前広場事例：歩行者空間を拡充し、歩行者中心の駅前広場として整備した事例

姫路駅

- 人口：532,859人
- 乗降客数：98,893人
- 整備後の面積（北口）：16,100 m²

整備後



整備コンセプト

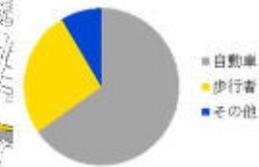
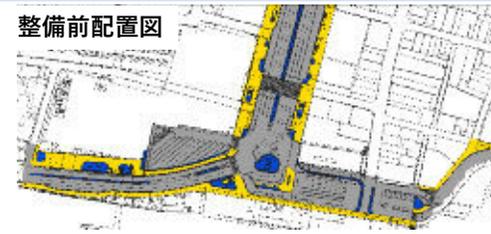
市民と専門家と行政が協働し創り上げる、姫路城を焦点とする歩行者中心の立体広場

・交通広場を側面に回し、駅の正面には姫路城をアイストップとする都市軸と一体化した歩行者空間を配置

・一般乗降場の一部を民間側で用意し、大手前通りではトランジットモール（公共交通機関と歩行者の通行だけを許す街路）を実現

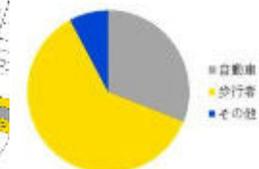
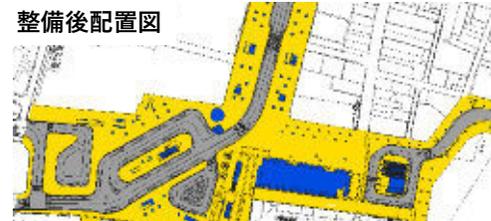
・立体広場ともいえるサクンガーデン、芝生広場、姫路城を望む眺望現キャスルビューなどを組み合わせ、駅前広場＝交通広場という従来の図式を大きく塗り替えた

整備前配置図



歩行者空間：26%

整備後配置図



歩行者空間：61%

※ SpaceSyntaxJapan 高松氏作成

2) 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討に向けた3つの視点

視点② 空間の「あり方」でみた駅前広場事例：歩行者空間を拡充し、歩行者中心の駅前広場として整備した事例

姫路駅

■人口：532,859人
 ■乗降客数：98,893人
 ■整備後の面積（北口）：16,100㎡

整備ポイント1

歩行者のための多様な憩いの空間を充実させ、にぎわいのある駅前広場を実現。

●歩行者中心の考え方による駅前の滞留空間整備



歩行者のための空間創出 芝生広場

(出典：全国まちなか広場研究会HPより)



歩行者のための空間創出：サンクンガーデン

(出典：姫路市HPより)

2) 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討に向けた3つの視点

視点② 空間の「あり方」でみた駅前広場事例：歩行者空間を拡充し、歩行者中心の駅前広場として整備した事例

姫路駅

■人口：532,859人
 ■乗降客数：98,893人
 ■整備後の面積（北口）：16,100㎡

整備ポイント2

関係者の協働により、駅前通りの移動動線の輻輳を解消し、トランジットモール化することで、周辺のまちへの繋がりを意識させる歩行空間を実現

●周辺のまちへの繋がりを意識した道路再編



整備前の大手前通り



整備後の大手前通り

視点③ 南口駅前広場周辺の地域活動

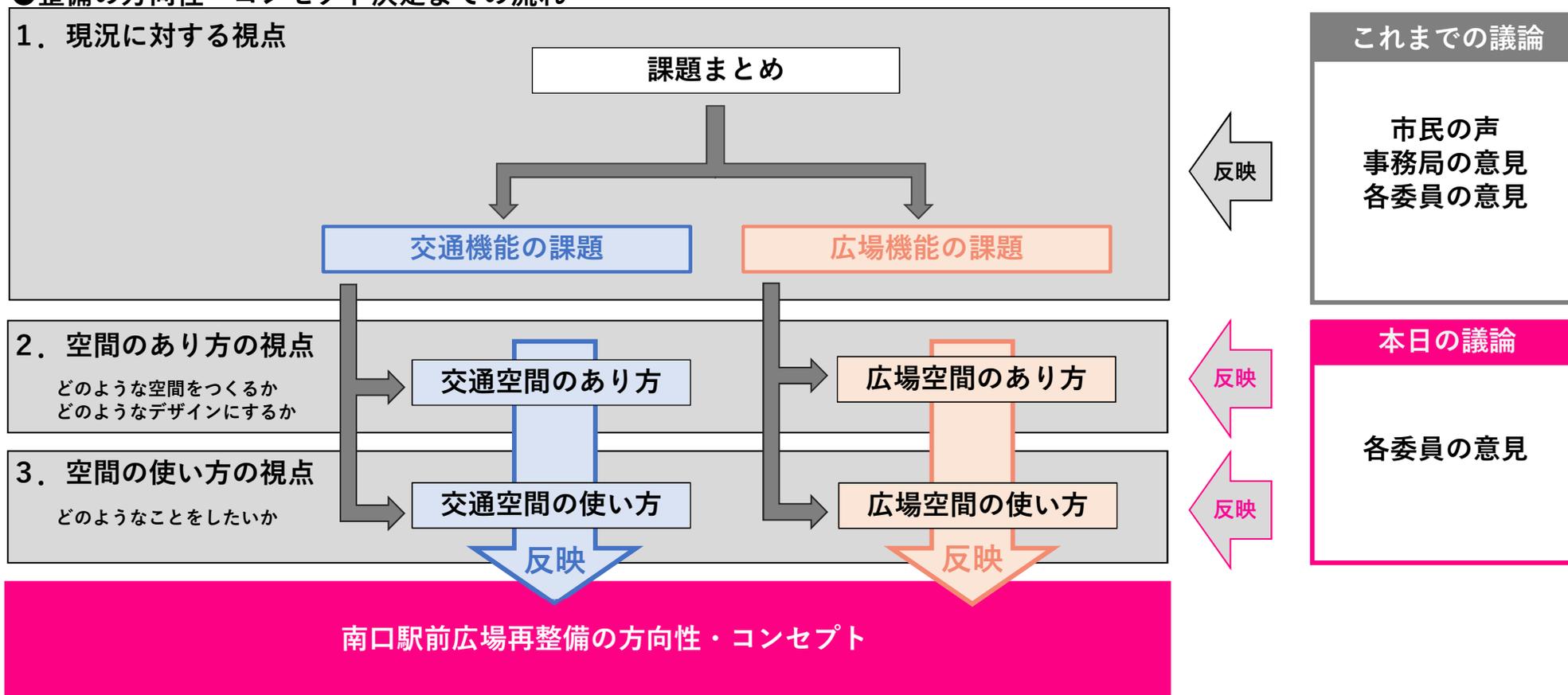


●ご意見いただきたい内容

南口駅前広場の現状課題を踏まえた、将来の空間のあり方と使い方

切り口例：どのような使われ方が望ましいか？求められる機能とは？駅前広場として重視すべき考え方は？

●整備の方向性・コンセプト決定までの流れ



課題 まとめ	視点1： 現況に対 する視点	交通機能	広場機能
		<ul style="list-style-type: none"> ● 交通事業者や一般車利用者にとってロータリーの使い方に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩行者の空間が足りない。人のための空間が必要。 ● まちとの繋がりが感られない。将来を見据え、まちとの相互作用を考える必要がある。
視点の まとめ	視点2： 空間の あり方 <small>どのような空間 をつくるか どのようなデザ インにするか</small>	交通空間	環境空間
	視点3： 空間の 使い方 <small>どのようなこと をしたいか</small>		
南口駅前広場再整備の 方向性・ コンセプト			

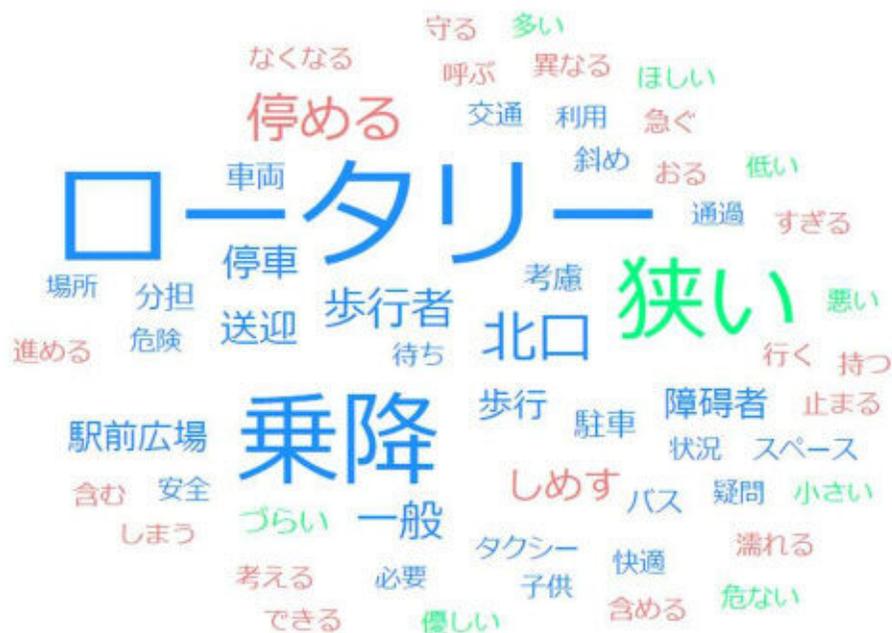


		交通空間	環境空間
<p>視点の まとめ</p>	<p>視点2： 空間の あり方 どのような空間 をつくるか どのようなデザ インにするか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用者のことも考える必要がある。 ・北口との役割分担や新幹線口等、駅そのものの機能も含めて検討すべき。 ・障害者を含む利用者の多様性を考慮して駅前広場を考えてほしい。 ・子供連れ、スーツケースを持った観光客が通行しづらいので、拡幅してほしい。 ・石田街道の観光バスをどこに配置するか考える必要がある。 ・歩車共存を図るべき。現状のスペースでは足りないので、広場空間を広げることも考えるべき。 ・まちとつなぐ視点で道路との関係をどのように考えるか。アクセスの在り方を大胆に変えることも幅広く議論してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての課題の解決は困難。10-20年先を見越して、市民の車送迎、観光客向け、市民のための広場等の課題を考慮して方向性を考える必要がある。 ・子供や子供連れが利用しやすいような空間があるとよい。森下公園等への玄関口となるとよい。 ・駅から降りた際に静岡の下町らしさを感じられるような、明るい空間があるとよい。 ・安心できる空間がほしい。人通りの量や明るい雰囲気意識して広場空間を作ること、将来の活性化につながると思う。 ・待ち合わせ場所が広場にほしい。喫煙所の配置を再考してほしい。 ・ペDESTリアンデッキの配置を工夫してほしい。
	<p>視点3： 空間の 使い方 どのようなことを したいか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転等の新しいモビリティ導入のスタート地点となればよい。 ・アプリでのタクシー予約場所、Maas等、最新技術の導入の視点も必要。 ・沿道の建築含め 	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡ガスさんのイベントがあった際に連携できる距離にある。 ・半径500mの歩行距離を考慮して駅前広場を考えていきたい。駅南銀座との円滑な連携ができるとよい。 ・利用者同士の交流ができて目的となるとよい。移動だけではない使い方があるとよい。 ・現在彫刻のある広場空間等を利用して、周辺商業者のPRや若者を対象としたイベントをすることも考えられる。 ・将来を担う若者や子供たちを対象に使い方を考えたい。 ・若者を南口に誘導したい。旭川駅のような、学生の居場所があるとよい。学生にとってはお金を使わなくても過ごせるような、南口の雰囲気を活かした安心して過ごせるパブリックスペースがあるとよい。 ・新潟駅南口のような活発なイベント利用が可能だとよい。マルシェ、ストリートダンス等 ・住民参加がポイントとなる。そのためには活動スペースが必要。作っただけでなく、その後の運用のアイデアだしが今後必要になる。 ・多様な使われ方をシーズンごとに考えるのがよい。

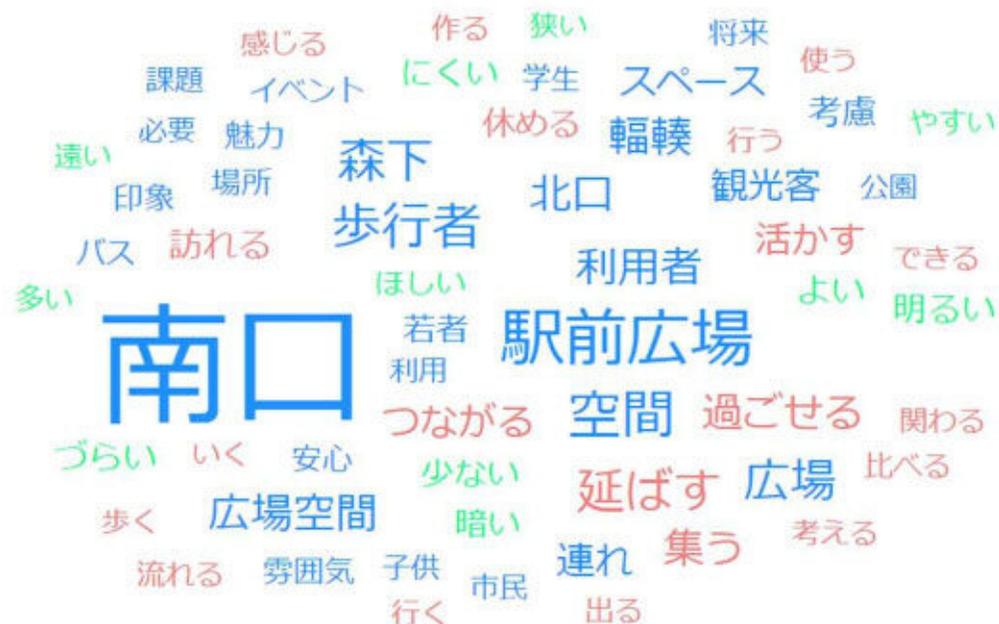
第1回検討委員会でのキーワード（イメージ）

視点①現況と課題、視点②空間のあり方、視点③空間の使い方

交通機能



広場機能



青色：名詞
 赤色：動詞
 緑色：形容詞・形容動詞

※出現回数や重要度を加味して単語の大きさが決定される

※キーワード抽出は、ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)